

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研究生または卒業生

学会名	公益社団法人自動車技術会関東支部2020年度学術研究講演会
演題名	ハイブリッド自動車を用いた実路走行における燃費に関する研究（2モータ方式のハイブリッド車の実路燃費）
発表者	○石井 信幸※、平久保 亮佑※、熊田 暉※、加藤 彰
内容	<p>自動車の燃費と排出ガスには、国や地域ごとに定められた手法、例えば日本であればJC08モードやWLTC(Worldwide - harmonized Light vehicles Test Cycle)モードなどの走行モードに合わせて、屋内のシャシダイナモメータを用いて計測し、CO、HC、およびNOxなどの排出ガスを規制値に適合させることが各国の法律で定められており、その規制基準は各国で年々厳しくなっている。CO2排出は自動車の燃費に反比例するため、一般ユーザーの関心も非常に高く、実路における燃費および排出ガスの研究事例も少なくない。しかしながら、各種のモード試験と実路における燃費を計測し比較検討した研究は少ない。したがってモード試験と実路試験の燃費の差異とその原因を解析し、加えて実路におけるCO2排出低減への対策手法を提示することを本研究の目的とする。初年度にガソリン車、昨年は1モータ方式のハイブリッド車を用いて試験を行い、今年はハイブリッド車(以下HV車)の形式を変え、日本における代表的なHVシステムである2モータ方式のHV車を用いて試験を行った結果について報告する。</p> <p>※本投稿論文は本講演会においてベストペーパー賞を受賞しました。</p>